

青梅市長 大勢待利明 殿

2024年度青梅市予算編成にあたっての重点要望書

2023年11月30日

日本共産党青梅市議団 市議会議員 藤野ひろえ
市議会議員 みねざき拓実
市議会議員 井上たかし

来年度の青梅市の予算編成について、特に重要な問題として、以下、要望します。

1. 子育て・教育費負担の軽減について

(1)学校給食の無償化について

- ①学校給食は、小学生、中学生ともに全員を無償化の対象としてください。
- ②学校給食を無償化する際には、1食あたりの単価は現状以上として品質を保証し、教育的観点からの給食内容の充実のほか、地場産をはじめとした良質な原材料の調達などを通した農業振興などにも取り組む観点を、これまで以上に充実させてください。
- ③学校給食無償化の財源を、市として安定的に確保するために、給食無償化を目的とする基金を設けてください。
- ④国に対して、義務教育の無償化の一環として給食無償化の財源を措置することを求めてください。
- ⑤東京都に対して、各自治体の無償化の取り組みを支援することを求めてください。

(2)その他の保護者負担の軽減について

- ①就学援助の内容の充実や各種補助により、教材費や移動教室等の負担、卒業アルバム代、制服等の購入費、部活動費、自転車通学等にかかる費用などの保護者負担軽減に取り組んでください。
- ②小規模特認校の通学費負担を軽減するため、通学定期の支給や通学バスの拡充（中学生の利用を含む）に取り組んでください。

2. 公共交通の充実について

- ①10月から取り組まれている河辺1～3丁目地区の「グリーンスローモビリティ」を利用した新たな公共交通については、ワゴン車などの別の車両の利用を含めて、さらに実証運行に取り組み、本格運行につなげてください。
- ②地域公共交通計画に示されたほかの8地区についても、住民との話し合いを開始し、実証運行等に取り組んでください。その際には、デマンド型と定時定路線型の双方を検討の対象とし、利用する車両はバス型、ワゴン車型、グリーンスローモビリティなど幅広く検討してください。
- ③以上の内容について、青梅市公共交通協議会に提起してください。また、公共交通協議会に限らず、市内の交通事業者と積極的に公共交通の維持・充実について協議を行ってください。

3. 子どもの居場所づくりについて

- ①児童館の建設について市全体を視野に入れた計画を策定してください。その際には、市民参加を重視することとともに、現在検討中の複合施設（東青梅一丁目）内の大型児童センターのほか、東部地域、西部地域で1カ所以上の児童館を設置する計画としてください。
- ②第7次青梅市総合長期計画に示されている多世代交流拠点、プレーパーク等の設置について具体化を進めてください。
- ③子育て支援センター「はぐはぐ」については、施設の老朽化対策、または更新を行ってください。

4. 医療・介護の負担軽減について

- ①国民健康保険税の値上げを抑制するためにあらゆる手立てをつくしてください。
- ②介護保険料の値上げを抑制するためにあらゆる手立てをつくしてください。
- ③高齢者の介護予防・居場所づくりの一環として、地域包括支援センターの機能を充実させてください。特に、高齢者の居場所として十分な機能を持つ施設を設置し、地域包括支援センターを当該施設内に設置するなど、市民が利用しやすい施設にする取り組みを重視してください。

5. 文化複合施設・新市民ホールの建設について

(1)文化複合施設の基本計画策定に、より幅広い市民が継続的にかかわれる体制や仕組みを作ってください。

①新市民ホールについては、市民意見を丁寧に把握し、座席の規模や各種機能など、懇談会の報告内容に限定せずに、より充実したものにする努力を継続してください。民間有識者の登用などを含めて、継続的な市民参加の「場づくり」に取り組んでください。

②大型児童センターについても、希望する市民や市内団体などが参加できる基本計画策定の体制をつくってください。

(2)文化複合施設に関するその他の問題について

①廃止される現在の福祉センターを利用していた市民や団体の活動が継続できるように、代替施設の確保に取り組んでください。また、これらの機能は新施設に継承するようにしてください。

②文化複合施設については、新市民ホール、大型児童センター、バンケットホール、これらの機能と親和性の高い会議室等に機能を絞り、必要な駐車場の台数を確保することの重要性から、市民センターや児童相談所などの機能は入れないようにしてください。

6. 公共施設一般について

①市民センターの老朽化対策・バリアフリー化に取り組んでください。

以上